

知基第217号
平成30年3月8日

特命全権大使（沖縄担当）
川田 司 殿

沖縄県知事 翁長雄志



F-15の部品落下事故について（抗議）

平成30年2月27日に、嘉手納飛行場所属のF-15の部品が落下する事故が発生しました。

今回の事故は、県民への人的・物的な被害は報告されておりませんが、昨年相次ぐ米軍航空機事故は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等に大きな疑念と不信感を抱かせ続けており、極めて遺憾であります。

2月8日のMV-22オスプレイの部品落下事故で、米軍から速やかな通報がなかったことが問題となったにもかかわらず、今回も米軍から日本政府への通報に6日以上を要したことに加え、県から問い合わせがあるまで、国から県に対し事故発生時の連絡がなかったことに強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、県が求める航空機の緊急総点検の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを政府の責任で米軍に実現させるとともに、事故発生時の連絡通報体制の検証、改善を早急に行うよう強く求めます。

また、今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実行性のある再発防止の実施を米軍に働きかけることを強く要請します。



知基第217号
平成30年3月8日

沖縄防衛局長
中嶋 浩一郎 殿

沖縄県知事 翁長雄志



F-15の部品落下事故について（抗議）

平成30年2月27日に、嘉手納飛行場所属のF-15の部品が落下する事故が発生しました。

今回の事故は、県民への人的・物的な被害は報告されておりませんが、昨年相次ぐ米軍航空機事故は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等に大きな疑念と不信感を抱かせ続けており、極めて遺憾であります。

2月8日のMV-22オスプレイの部品落下事故で、米軍から速やかな通報がなかったことが問題となったにもかかわらず、今回も米軍から日本政府への通報に6日以上を要したことに加え、県から問い合わせがあるまで、国から県に対し事故発生連絡がなかったことに強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、県が求める航空機の緊急総点検の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを政府の責任で米軍に実現させるとともに、事故発生時の連絡通報体制の検証、改善を早急に行うよう強く求めます。

また、今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実行性のある再発防止の実施を米軍に働きかけることを強く要請します。



知基第217号
平成30年3月16日

第18航空団司令官
ケース・カニングハム 殿

沖縄県知事 翁長雄志



F-15の部品落下事故について（抗議）

平成30年2月27日に嘉手納飛行場所属のF-15の部品が落下する事故が発生しました。

今回の事故は、県民への人的・物的な被害は報告されておりませんが、昨年相次ぐ米軍航空機事故は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え、米軍の航空機整備、安全対策等に大きな疑念と不信感を抱かせ続けており、極めて遺憾であります。

2月8日のMV-22オスプレイの部品落下事故で、米軍から速やかな通報がなかったことが問題となったにもかかわらず、今回も米軍から日本政府への通報に6日以上を要したことに強い憤りを禁じ得ません。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、県が求める航空機の緊急総点検の確実な実施及び航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを行うとともに、事故発生時の連絡通報体制の検証、改善を早急に行うよう強く求めます。

また、今回の事故に関しては、原因究明がなされるまでの同機種飛行中止、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止の実施を強く要請します。